



# これまでの取組と第4期中期計画に向けた 今後の取組の方向性について

令和6年8月

 徳島県鳴門病院

# 病院概要

許可病床数 307床(一般病床、うち6床人間ドック)

---

診療科 内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科  
皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科  
放射線科、麻酔科、形成外科、救急・総合診療科  
(以上15診療科)

併設施設 健康管理センター  
附属看護専門学校

# 徳島県鳴門病院の現状



・(救急医療)2次救急医療機関

・(周産期)分娩取扱医療機関

(地域包括ケア)地域医療支援病院  
在宅療養後方支援病院  
患者サポートセンター



附属看護専門学校

・臨床研修指定病院

・医療人育成センター

・日本がん治療認定医機構 認定研修施設  
・日本糖尿病学会 認定教育施設 I  
・日本整形外科学会 研修施設  
など計23施設

医療

・(特徴のある医療)手の外科センター  
脊椎脊髄センター  
糖尿病・内分泌センター

・(がん医療)地域がん診療連携推進病院

・(災害医療)災害拠点病院

理念

私たちは皆さまに信頼  
される病院づくりを目指し  
安全な医療を親切に  
提供することに努めます。

人材  
育成

健康  
づくり



健康管理センター

・定期健康診断  
・生活習慣病予防検診  
・巡回健診 など

・人間ドック  
・脳ドック

・PET-CT検診  
・各種がん検診

# <入院外来患者の動向>

## 1日当たりの入院患者数



## 1日当たりの外来患者数



# <財務状況>

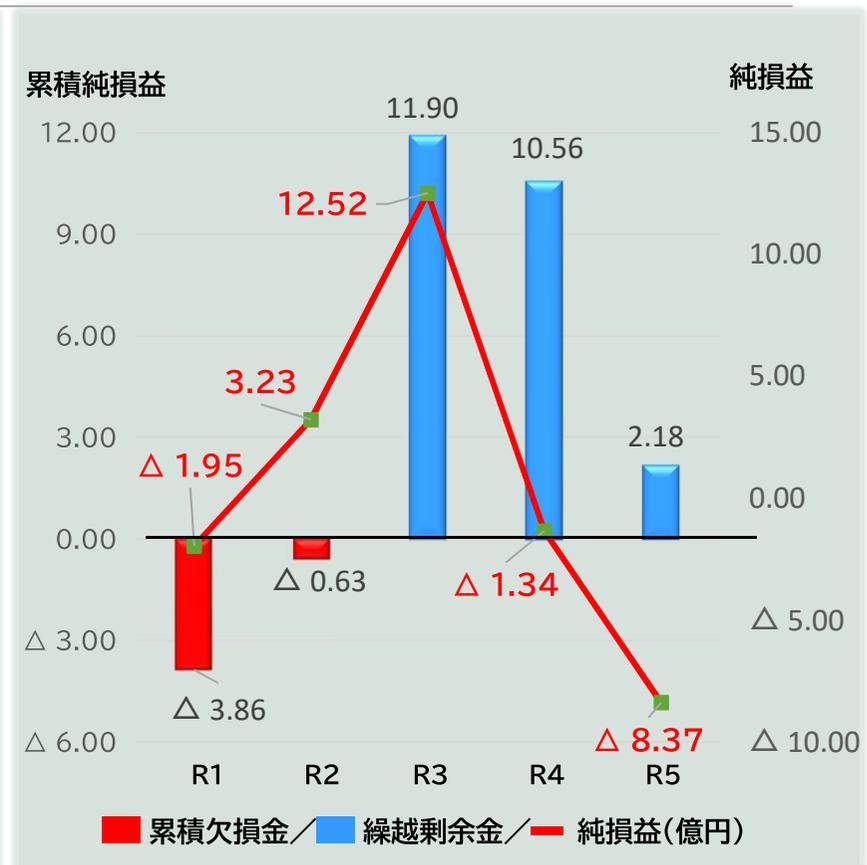


徳島県鳴門病院

## 収益・費用の推移



## 純損益、累積純損益の推移



# ① 救急医療

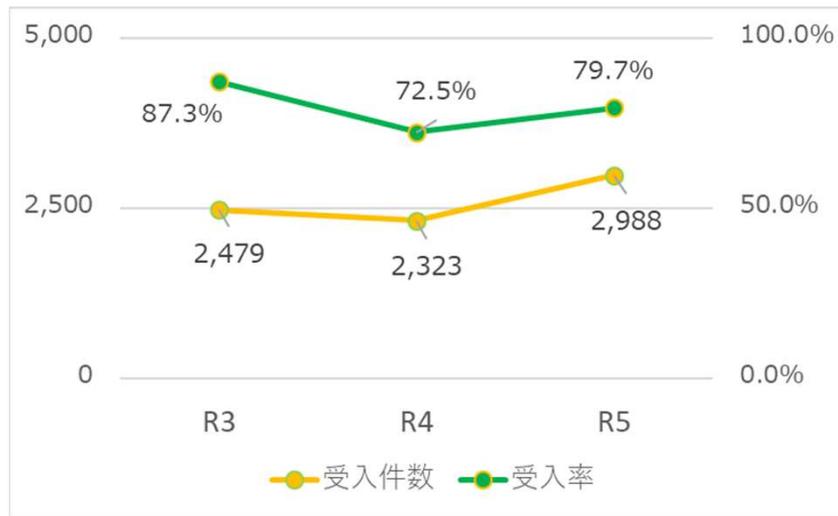
○東部Ⅱ医療圏における「2次救急医療機関」の1つとして、24時間365日の患者受入に対応



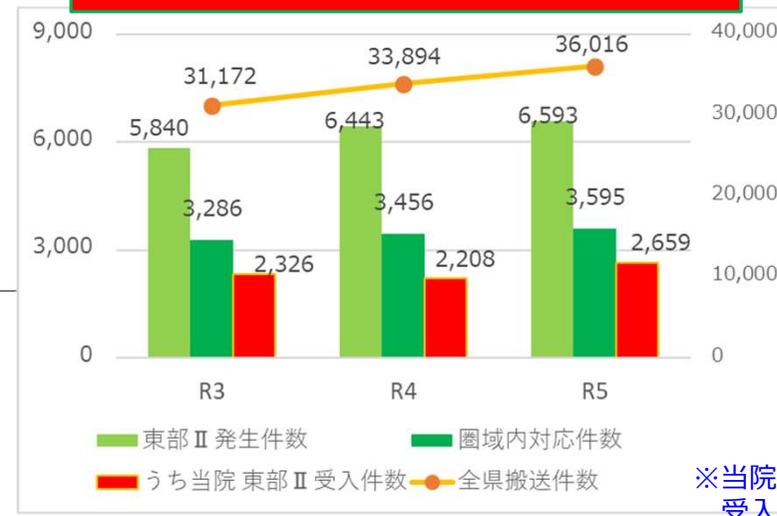
○令和5年度 受入実績  
 受入件数2,988件（法人設立以降最多）  
 受入率79.7%

R2.4「救急科」新設  
 R4.4「救急・総合診療科」改称  
 R5.4「救急総合診療センター」設置

増加する救急搬送  
 東部Ⅱ医療圏の自己完結率の向上が課題



【救急搬送患者受入件数 年度推移】



【東部Ⅱ医療圏の救急搬送状況】  
 徳島県 救急搬送調べ（暦年）より

※当院の圏域内  
 受入件数は  
 当院調べ

第4期中期計画の  
 方向性（案）

「県北部の最重要な救急医療施設」  
 として救急患者受入体制の更なる強化



## ② 産科医療・小児医療



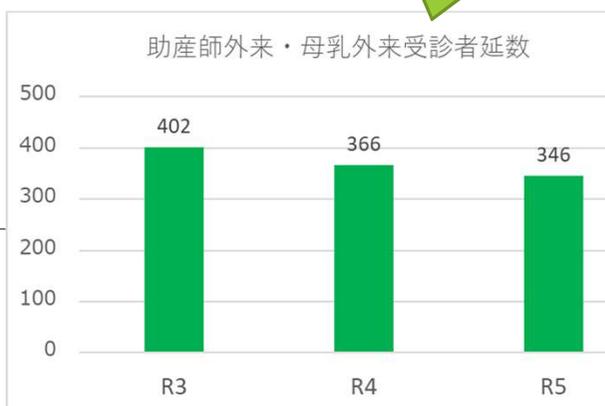
徳島県鳴門病院

- 民間医療機関の分娩休止に伴い、吉野川北岸で唯一の分娩医療機関となっている。  
令和5年度分娩件数273件（うち無痛分娩106件）
- 助産師・母乳外来の実施日を随時拡大し、**妊産婦への様々な保健指導や健康管理のアドバイス**等にも力を注いでいる。
- 令和6年度から、産後間もないお母さんとあかちゃんの心身のケアやサポートを行う**産後ケア（デイケア）**事業も実施。

令和3年度  
週2日→週3日  
に拡大



【分娩件数】



【助産師・母乳外来受診者延数】

### 産後ケア(デイケア)

- ◆8月13日までの利用実績 延21名  
うち鳴門市在住の方 延16名
- ◆利用者アンケートの満足度  
「とても良かった」100%  
→ リピーター率も100%

(感想)

- ・1つずつ不安や疑問を取り除いてくれた。
- ・簡単にできるストレッチを教えてもらい腰痛がかなり改善されました。
- ・静かな環境でリラックスして過ごせました。



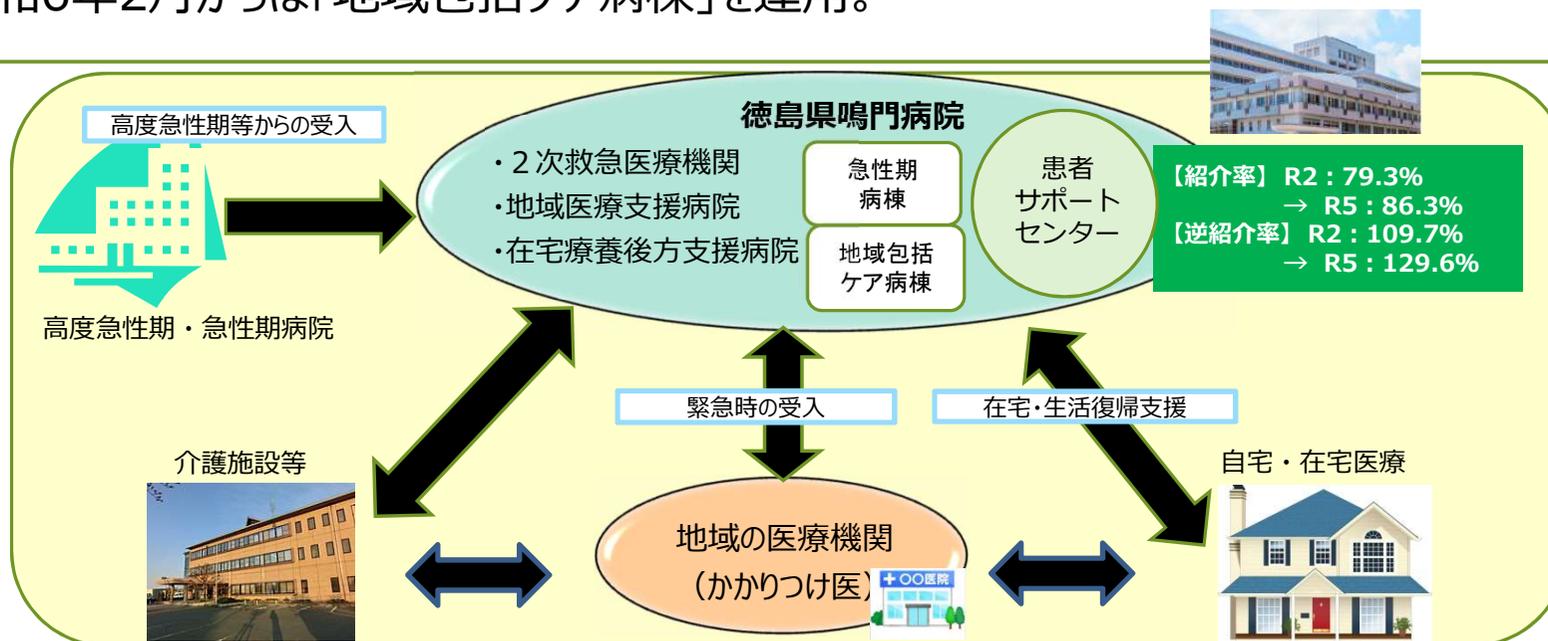
第4期中期計画の  
方向性（案）

産科・周産期医療体制の一層の充実を図り、  
地域の中核的な医療機関として役割を果たす。



### ③ 病院の果たすべき役割・機能の充実、強化 徳島県鳴門病院

- 「**地域医療支援病院**」として、「紹介率」「逆紹介率」の向上を図るとともに、「**在宅療養後方支援病院**」として、在宅医療患者の緊急入院などの症状悪化時でも、スムーズに対応できる体制を確保。
- 「**患者サポートセンター**」R1.10月  
設置では、地域医療連携・医療福祉相談機能に加え、入院時サポート・看護相談支援機能を備え、一体的にサポート。
- 令和6年2月からは「**地域包括ケア病棟**」を運用。



第4期中期計画の  
方向性 (案)

患者サポートセンターの充実・強化、  
地域包括ケア病棟を核とした地域医療連携体制の整備

## ④ 特徴のある医療（整形外科分野等）

- 「**手の外科センター**」H22.10月開設において、医師・看護師・作業療法士といった多職種が一体となって迅速かつ高度な治療を提供。また、「**脊椎脊髄センター**」H30.12月開設において、難易度の高い手術を実施し、地域センター的機能を発揮し、質の高い医療を推進。
- 「**糖尿病・内分泌センター**」H30.11月設置において、糖尿病・内分泌専門医、糖尿病認定看護師、管理栄養士、NSW等による多職種のチーム医療を提供。
- 術後患者への早期リハビリテーションの積極的实施。

【手の外科C・脊椎脊髄Cリハビリ件数】  
R3：723件→R5：991件



手の外科センター手術件数



脊椎脊髄センター手術件数



糖尿病・内分泌センター利用件数

両センターとも、県外からの紹介患者にも対応

第4期中期計画の  
方向性（案）

手の外科センター、脊椎・脊髄センターの包括的支援機能の拡充など  
**特色のある医療の更なる推進**により、質の高い医療を提供する。

# ⑤ がん医療



徳島県鳴門病院

- 「**地域がん診療連携推進病院**」として、「高精度リニアック」や「PET-CT」などの高度医療機器の強みを活かし、がん診療連携拠点病院と連携した質の高いがん医療を提供。
- 人間ドック、がん検診等の予防医療への積極的取組。
- 外来化学療法室の移転・拡充で、より快適な治療環境を整備。
- 術後患者の早期離床に向けたがんリハビリテーションの実施。

【がん医療専門医・認定医】6名  
【認定看護師（がん化学療法看護）】2名

【がんリハビリテーション認定資格者】15名  
【がんリハビリテーション実施件数】R5：189件

予防医療への取組



人間ドック、がん検診等の実施や検査後のフォローアップで早期発見

リニアック R1.7稼働



PET-CT R2.6稼働



外来化学療法室 R5.1移転



外の景色が見えて明るい雰囲気  
点滴治療スペース

治療室や相談室も完備

第4期中期計画の  
方向性（案）

リニアック・PET-CTの有効活用、緩和ケアの推進など、  
がん医療の高度化によるがん医療提供体制の強化



## ⑥ 感染症対応



徳島県鳴門病院

- 新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる「重点医療機関」として、入院患者の受入要請に積極的に対応してきた。
- 「**感染症制御センター**」R5.4月  
設置を中心に、感染防止訓練・研修会・病棟ラウンド、抗菌薬適正使用カンファレンスを実施。
- 新興感染症等の発生時にも対応できるようリバーシブルな構造を備えた「地域包括ケア病棟」を整備。
- 感染管理領域において、熟練した看護技術と知識を駆使して水準の高い看護を実践する「**感染管理・認定看護師**」を養成した。現在2名が在籍

R6.2月開設  
2週間程度で感染症対応  
病棟への転換が可能



【地域包括ケア病棟】



第4期中期計画の  
方向性（案）

県北部の最重要な救急医療施設として、  
新興感染症への対応体制を強化

# ⑦ 災害医療

吉野川北岸地域で唯一の「災害拠点病院」

- 令和5年4月「災害医療センター」を設置、地域住民や関係機関と連携した災害医療訓練の実施、BCP見直し、災害備蓄品の計画的な整備等、災害拠点病院としての機能を強化。
- DMAT研修・訓練への積極的参加により、DMATの体制強化、技能向上を図っている。
- 本年6月、「ヘリポート」工事に着手。引き続き、「津波防潮壁」の整備検討。

DMAT隊  
4チーム保有

【令和7年5月完成】

## 訓練

### 【令和5年度災害訓練 1/17(水)】

地域、行政、医療機関、福祉施設、  
企業等から200名超の方が参加  
(総勢634名)

⇒BCP改訂

災害対応マニュアル(平日日勤帯)作成

実践・検証



徳島県鳴門病院 (災害拠点病院)

## 被災地支援

– R6能登半島地震 –  
DMAT(活動5日) 1隊派遣、  
JMAT(活動3日)に職員を2回派遣

## 災害用備蓄

能登半島地震の状況等を踏まえ、  
「備蓄量」見直し(3日分→4日分)  
適正備蓄の検討継続

国において検討中の新たな「被害想定」等を踏まえ、  
「防潮壁」の整備に向け取り組む

防潮壁の整備検討

第4期中期計画の  
方向性(案)

関係機関との連携を強化するとともに、「ヘリポート整備」  
「津波防潮壁」の整備検討を進め、災害拠点病院の機能強化を図る。



# ⑧ 人材の確保・育成、働き方改革



徳島県鳴門病院

○徳島大学等の関係機関と連携を図り、**医師等の質の高い医療従事者の確保**に努めた。

【常勤医師数】H31.4月：42人→R6.4月：46人

○「**臨床研修看護師制度**」をR5創設し、新人看護師の臨床実践能力の習得環境を整えた。

○各職種の計画的な人材育成に向け、「**人材育成計画・職種別キャリアラダー**」を作成。

R5.3月  
策定

○**多職種によるタスクシフティング**や、ドクターズアシスタント等の活用により、医師・看護師など職員の業務負担軽減を図った。

## 【臨床研修医の確保、養成】

	R6	R5	R4	R3	R2	R1
初期臨床研修医数（基幹型）	5名	4名	4名	5名	4名	3名

- ・R5は4名（1年目2名、2年目2名）の研修医を確保  
R6年度に向け、初期臨床研修医4名のマッチングに成功  
⇒ R6採用 3名（県内大学1、県外大学2）

- ・毎年度、複数名の指導医を養成
- ・特色ある研修プログラムの設定



【R6】「医療人育成センター」設置

## 【臨床研修看護師制度】 R5創設

- ◆対象：新人看護師 ◆期間：1年間

病棟ローテーション研修を組み込んだ職場内研修（OJT）、集合研修（Off-JT）を実施し、看護実践に必要な知識・技術、チーム医療等を習得。

- ・医師事務支援室の設置
- ・ドクターズアシスタントや臨床工学士の業務拡大、薬剤師による院内処方箋の代行入力
- ・ナースアシスタント・ナースサポーターの増員 など

< 医師・看護師などの業務負担軽減 >

第4期中期計画の  
方向性（案）

医療の未来を担う**質の高い医療人材の確保・養成**  
魅力ある職場づくり、キャリア形成の支援

# ⑨ 看護専門学校の実質強化

○看護師養成所を併設し、質の高い看護師を養成する県内唯一の医療機関である。

(東徳島医療センター附属看護学校 令和2年度末で閉校)

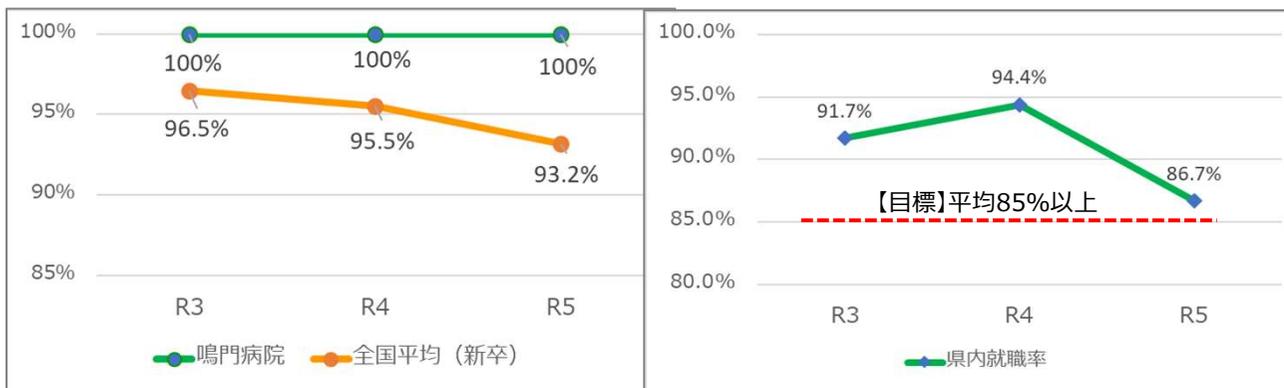
寮を完備

○12年連続・看護師国家試験・合格率100%を継続。

恵まれた実習環境

○県内各地に優秀な人材を輩出。

【計画期間 目標】 平均85%以上  
【R3~R5 実績】 平均90.9%



看護師国家試験合格率 (新卒)

県内就職率

## 看護学生ならではの病棟体験 ナースアシスタント

・学校の夏休み期間中に、  
・アルバイトをしながら、  
**患者さんのお世話や  
病棟業務を学べる貴重な体験**

◆ベッドメイキングや食事、入浴介助、  
見守りなど、病棟看護のお手伝い  
など

第4期中期計画の  
方向性 (案)

県立総合看護学校とのさらなる連携強化による  
優秀な看護学生の確保及び質の高い教育の実現



# ⑩ 地域住民の健康維持への貢献

○「健康管理センター」では、各種健診、人間ドック、がん検診などの健診事業の充実と、受診者に対する積極的な保健指導により、**県民の「病気予防」に貢献。**

R4.2 日本人間ドック学会  
「人間ドック健診施設機能評価」認定

○巡回検診車により、県内各地での一般健診や生活習慣病予防健診を支援。

○各職種が出前講座等を通じ、**地域における健康維持・増進**に向け積極的に取組。

## 健康意識・行動を高める啓発活動

- ・鳴門市との連携による医師講演、並びに  
医師・薬剤師・保健師・理学療法士・管理栄養士等  
による健康相談
- ・鳴門市生活支援サポーター養成講座
- ・県スポーツ協会との共同事業「生活習慣病予防教室」
- ・徳島県老人クラブ連合会「介護予防リーダー養成研修」
- ・大道銀天街「100円商店街」  
健康相談ブース
- ・鳴門病院まつり「みんなの保健室」

など、各職種が様々な啓発活動を実施している。

鳴門市と連携／市民実践講座



## 健康管理センター



### 【 受診環境の整備 】

- ・総合内視鏡センターリニューアルに伴う機能充実 (R3)
- ・エントランス、診察エリア等のリニューアル (R4,R5)
- ・検診車更新 (R5)
- ・時間差受付導入 (R5) など



- ・定期健康診断
- ・生活習慣病予防健診
- ・人間ドック、脳ドック
- ・PET-CT検査 (R2.6から)
- ・各種がん検診
- ・各種オプション精密検査

【R4 自己負担額の抑制】  
市町村の健診事業を活用した「市民ドック制度」の創設

・巡回健診  
(R5実績) 8,979件

第4期中期計画の  
方向性 (案)

健康管理センターの機能充実による、  
地域と一体になった**健康づくり拠点の推進**

